

日程 平成 28 年 7 月 30 日～8 月 1 日(越後・尾瀬)平ヶ岳・燧ヶ岳

7/30 東京駅＝浦佐駅＝シルバーライン＝銀山平温泉(泊)

7/31 銀山平温泉＝登山口－玉子石－平ヶ岳－姫の池－登山口＝銀山平温泉＝奥只見ダム＝御池(泊)

8/1 御池登山口－広沢田代－熊沢田代－御池登山口＝会津高原尾瀬口＝浅草駅

撮影者 小林(節) 松村 飯塚

(7/31)



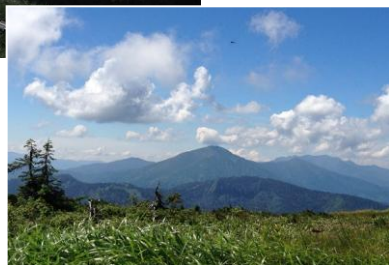
001 中ノ俣登山口

登山口には、悪路の林道を民宿の送迎車で揺られて着く。3軒の宿のご主人たちが「今夏、最高の天気だ！」と駐車場で見送ってくれた。



002 玉子石

急こう配で高段差が続く登りをひたすら耐えて、飛び出たところは広～い湿原と池塘のお花が出迎えてくれ一気に疲れが吹き飛ぶ。今にも、転がりそうな玉子石を背にパチリ。



003 尾瀬の山並み

名前の通りの平らな山頂へと木道が続く。下山後向かう尾瀬方向の素晴らしい展望とお花たちを愛でながら、心地良く歩を進める。



004 平ヶ岳山頂

標高二一四一と記されているが、最近の計測で2,139mと判明し、木道の終着点で、県境のポイントが最高点と修正されたそうです。





005 姫の池

山頂はツアーのグループで、賑わっていたので先行して下山開始する。

平ヶ岳を背景に、水面に青空と雲のコントラストが映えて、いつまでも眺めていたい景観です。

(8/1)

006 御池ロッジ

前日、奥只見湖遊覧船とバスにて御池に入る。午後より荒天の予報なので、ピークハントに拘らずスタート。



007 御池登山道

大きな滑り易い石の道を慎重に足を出し、中々タイトな登山道です。爽やかな尾瀬といっても汗が噴き出ます。

008 広沢田代
爽やかな風、可愛いお花たちが疲れを癒してくれるベストなタイミングに現れる湿原です。



009 熊沢田代

燧ヶ岳の山頂を真正面に見ながら、我々が独占の大湿原で、ゆったりとコーヒータイムを。この後、徐々にガスが山頂を覆い始めました。予報通り帰京のバス乗車の頃に雨が落ちてきました。

